

## 5 各年度における代替養育を必要とするこども数の見込み

### 代替養育を必要とするこども数の推移

- ・こども人口（0～18歳）は適合率（計画値に対する実績値の割合）が逡減しており、予想以上に減少が進んでいます。
- ・一方、代替養育が必要なこども数は令和5年度末では概ね推計どおりの人数となっていますが、児童虐待の認定件数が急増した令和元年度には代替養育が必要なこども数も大きく増加していることに留意する必要があります。

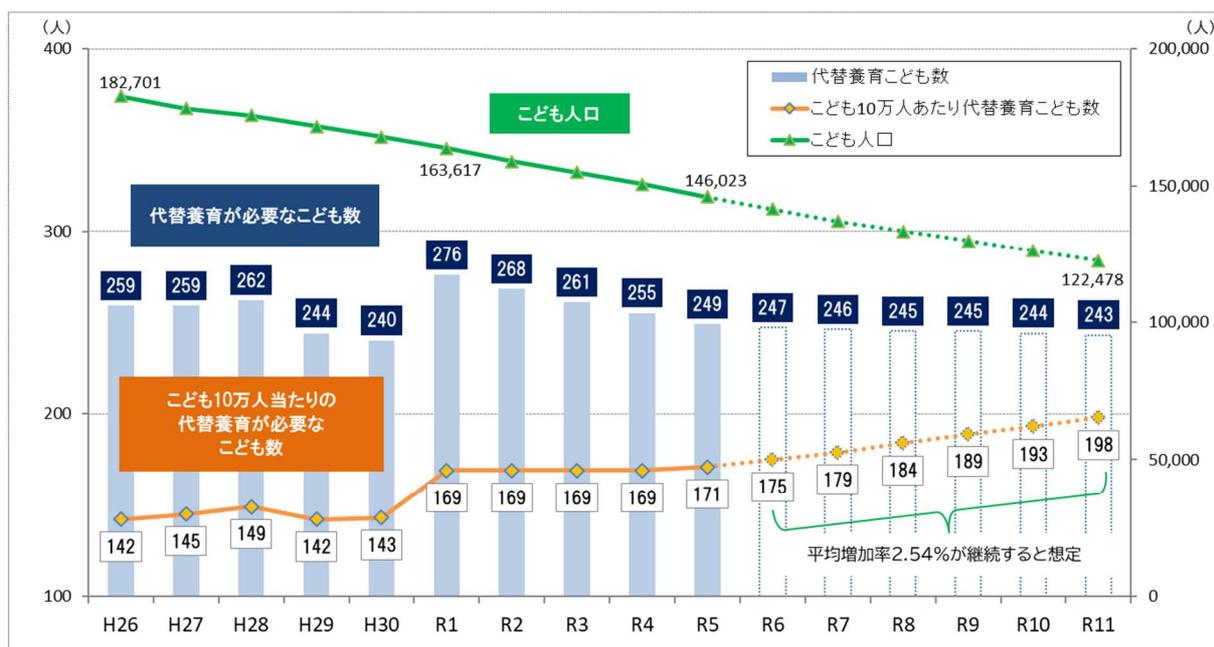
＜図表5-1＞ 代替養育が必要なこども数の推移

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
こども人口 (0～18歳)	計画値	164,789人	161,700人	158,538人	155,376人	152,214人
	実績	163,617人	158,910人	154,882人	150,645人	146,023人
	適合率	約99.3%	約98.3%	約97.7%	約97.0%	約95.9%
代替養育 が必要な こども数	計画値	263人	259人	255人	252人	248人
	実績	276人	268人	261人	255人	249人
	適合率	約104.9%	約103.5%	約102.4%	約101.2%	約100.4%

### 令和7年度以降の代替養育を必要とするこども数の見込み（時点修正）

- ・「こども10万人あたりの代替養育が必要なこども数」の推移をみると令和2年度以降は横ばいとなっていますが、長期的にみると緩やかな増加傾向にあることから、過去10年間の「こども10万人あたりの代替養育が必要なこども数」の平均増加率2.54%が継続すると想定し、令和7年度以降の代替養育を必要とするこども数を推計します。
- ・その結果、代替養育を必要とするこども数は、令和11年度末で243人と概ね横ばいで推移すると見込んでいます。（具体的な推計の考え方は次頁を参照）

＜図表5-2＞ 代替養育を必要とするこども数の見込み



※代替養育の対象となる児童は基本的には18歳未満であるが、18歳に到達しても当該学年の年度末まで措置延長されることが多いため、18歳人口も含めて推計。

■「代替養育を必要とする子ども数の見込み」の推計の考え方

①将来の子ども人口について、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の「日本の将来推計人口（令和5年推計）」における山形県の人口をもとに、計画期間である令和7年度から令和11年度までの子ども人口（0～18歳）を推計。

<図表5—3> 山形県の子ども人口(0～18歳)の推計 (単位:人)

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
子ども人口 (0～18歳)	136,991 (社人研推計)	133,363	129,735	126,106	122,478	118,850 (社人研推計)

※代替養育の対象となる児童は基本的には18歳未満であるが、18歳に到達しても当該学年の年度末まで措置延長されることが多いため、18歳人口も含めて推計。

※社人研による5年ごとの推計値をもとに、R7(2025年)の136,991人からR12(2030年)の118,850人まで各年均等に(3,628人)減少するものとし、各年の子ども人口を推計。

②過去10年間の「子ども人口10万人あたりの代替養育を必要とする子ども数」の平均増加率は2.54%であり、今後もこの傾向が継続すると想定。

<図表5—4> 子ども人口10万人あたりの代替養育が必要な子ども数の推移 (単位:人)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	
子ども人口	182,701	178,257	175,605	171,736	167,878	/
代替養育必要子ども数	259	259	262	244	240	
子ども10万人あたり 代替養育必要子ども数	142	145	149	142	143	
増加率	5.2%	2.1%	2.7%	▲4.7%	0.7%	
年度	R1	R2	R3	R4	R5	
子ども人口	163,617	158,910	154,882	150,645	146,023	—
代替養育必要子ども数	276	268	261	255	249	—
子ども10万人あたり 代替養育必要子ども数	169	169	169	169	171	—
増加率	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	2.54%

③上記②の平均増加率2.54%で算出した「子ども人口10万人あたりの代替養育を必要とする子ども数」をもとに、年度ごとの「代替養育を必要とする子ども数」を推計。

※年齢区分別（3歳未満、3歳以上の就学前、学童期以降）の数値の算出が求められているため、年度末措置児童の年齢別構成比（過去3年平均）から算出。

<図表5—5> 代替養育が必要な子ども数の見込み (単位:人)

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
子ども10万人あたり 代替養育子ども数(a)	171 (以降2.54% ずつ増加)	175	179	184	189	193	198
子ども人口(b)	146,023	141,507	136,991	133,363	129,735	126,106	122,478
代替養育が必要な 子ども数 (a*b/100,000)	<b>【基準】 249</b>	247	246	245	245	244	243
3歳未満(0～2歳)	3年平均7.7%		19	19	19	19	19
3歳以上就学前(3～5歳)	3年平均12.5%		31	31	31	30	30
学童期以降(6～18歳)	3年平均79.8%		196	195	195	195	194